

愛知学院大学人間文化研究所規程

(名称)

第一条 本研究所は、愛知学院大学人間文化研究所と称する。

(所在)

第二条 本研究所は、これを愛知学院大学文学部に置く。

(目的)

第三条 本研究所は、人間文化に関する総合的な研究を行い、その発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第四条 本研究所は、その目的達成のために下記の事業を行う。

- 1 人間文化に関する研究・調査・資料収集
- 2 海外との学問的交流
- 3 研究成果の刊行
- 4 講演会・研究会
- 5 その他必要な事業

(機関誌の電子データ公開)

第五条 本研究所の刊行する機関誌等に掲載された論文などの著作について、執筆者は電子データの公開に関わる権利を本研究所または本研究所の依頼する機関に委託するものとする。ただし、執筆者本人が利用・公開することを妨げない。

(構成)

第六条 本研究所は、所長・所員および研究事務担当職員をもって構成する。

(所長)

第七条 所長は文学部教授会の議を経て、所員たる文学部教授の中から学長が委嘱する。

所長は本研究所を代表し、研究および事務全般を統轄する。

(運営委員)

第八条 所長は文学部教授会の議を経て、五学科より運営委員若干名を委嘱する。

運営委員は所長の職務を補佐する。

(所長・運営委員の任期)

第九条 所長および運営委員の任期は二年とする。ただし、研究遂行上特に必要と認められる場合は、文学部教授会の議を経て、任期を延長することができる。

(所員)

第十条 本研究所の所員は、文学部専任教員全員をもって充てる。

(嘱託研究員)

第十一条 本研究所に研究の必要上、文学部専任教員以外の嘱託研究員を置くことができる。

2 嘱託研究員は、第十二条に定める運営委員会の議を経て所長が委嘱する。嘱託研究員の任期は一年とするが、運営委員会の議を経て更新することができる。

(運営委員会)

第十二条 運営委員会は、所長と運営委員をもって構成する。運営委員会は所長が議長となる。

(予算・決算)

第十三条 本研究所の研究費・運営費は、愛知学院大学の年間予算その他をもって充てる。

(規程の改正)

第十四条 本規程の改正は、文学部教授会の議を経て、学長の承認を得るものとする。

附則

本規程は、昭和五十六年七月十日より施行する。
本規程は、昭和六十一年四月一日より施行する。
本規程は、昭和六十三年四月一日より施行する。
本規程は、平成十一年二月十二日より施行する。
本規程は、平成十五年四月一日より施行する。

〔編集後記〕

『人間文化』三七号を皆様にお届けします。昨年の編集後記でもコロナ状況下の大学教育や調査研究の困難について書きましたが、二〇二二年も厳しい状況が続いています。それでも人間文化研究所員の皆様が研究を続けてその成果を論文などにまとめられていることに敬意を表します。三七号も論文七本に翻訳訳注とプロジェクト研究成果と、充実したものになっています。

なお知的財産権や著作権に加え、フェアユースなどその限定的な制限についてもさまざまな議論が出てきています。人間文化研究所でもこれまで前者を尊重しつつも、学問や表現の自由を損なわないように努めてきたところですが、今後も論文などのご執筆の際には、資料、特に写真などの使用に際して、著作権者などの権利者との間で慎重な対応をお願い申し上げます。とともに、ご意見をお聞かせいただければ幸いです。

夏前からコロナ感染者が増加し先は不透明ですが、考えてみるとこれまで人類はさまざまな疫病を経験し、呪術、民間療法、医学など、内容は異なりますがさまざまな対応をして経験と知恵を積み重ねてきました。学術や教育におけるこの新しい経験を未来にいかにかかしていくかという大きな課題を一人一人が担っています。人間文化研究所という場がそれに寄与できるように協力をお願いする次第です。

(中川すがね 記)

人間文化：愛知学院大学人間文化研究所紀要 第37號

令和4年9月10日印刷

(非売品)

令和4年9月20日発行

編集兼発行者

愛知学院大学人間文化研究所長 伊藤 雅之

〒470-0195

愛知県日進市岩崎町阿良池12番地

電話 0561 (73) 1111 (内線1875番)

印刷所 株式会社 あるむ

執筆者紹介

松 蘭 齊	文学部教授 (日本史)
木 村 文 輝	文学部教授 (インド哲学・仏教学)
上 田 恒 雄	文学部教授 (英語教育学)
横 山 龍 顯	文学部講師 (仏教学)
藤 田 賢	文学部教授 (英語教育学・応用心理言語学)
福 島 金 治	文学部教授 (日本史)
野 口 朋 香	文学部准教授 (コミュニケーション学)
松 井 真 子	文学部准教授 (オスマン帝国史)
安 藤 充	文学部教授 (アジア研究)

LIST OF THE CONTRIBUTORS

Hitoshi MATSUZONO, Professor of Japanese History
Bunki KIMURA, Professor of Indian Philosophy and Buddhist Studies
Tsuneo UEDA, Professor of English Education
Ryūken YOKOYAMA, Lecturer of Buddhist Studies
Ken FUJITA, Professor of English Education and Applied
Psycholinguistics
Kaneharu FUKUSHIMA, Professor of Japanese History
Tomoka NOGUCHI, Associate Professor of Communication Studies
Masako MATSUI, Associate Professor of Ottoman History
Mitsuru ANDO, Professor of Asian Studies